

(様式2(1))

事業所名 グループホーム花ちとせ

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 3 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	
	1	4	事故発生件数・ヒヤリハット件数においては、運営推進会議等で資料を配布・報告を行っているが前月分についての件数報告なのでその推移が見えづらい。	会議資料においては当事業所だけの問題ではなく同法人の施設との連携・共有が不可欠である。ご指導のあったように前月分だけでなく年度別として折れ線グラフでの分かりやすい推移を資料に加える。	まず一度作成してみても事業所内での職員の意見を踏まえ定例会議の案として提出する。	6ヶ月
	2	26	アセスメントは行えているが項目上の「課題の整理」においては記載がされたいなく活用していない。	「日常生活アセスメント」を活用し各利用者の「課題の整理」を行い職員間で情報共有を図る。	「日常生活アセスメント」の継続的な活用により「課題の整理」が抽出されたら担当者会議を開催し職員間で情報を共有する。	18ヶ月
	3	8	権利擁護・成年後見制度については知識が乏しい。	成年後見制度を利用されている方もおられるのでどの職員にも成年後見制度についての正しい知識を得てもらい理解することが出来る。	成年後見制度を活用している方がいるので定期的に弁護士の方の来訪がある。日程など調整し勉強会の開催の打診を行う。須磨区生活支援課への協力を要請し勉強会を開催する。	12ヶ月
	4					ヶ月
	5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。